



環境活動レポート



株式会社ホクノー
2021年11月1日
(対象期間 2020年8月1日～2021年7月31日)



1. 会社概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社ホクノー 代表取締役社長 野地 秀一

(2) 本社所在地

〒004-0014 北海道札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：取締役管理部長 鈴木 和敏（連絡先 TEL：011-897-2012 FAX:011-897-2046）

(4) 事業の内容

食品小売、雑貨書籍販売および不動産、公園施設の管理、飲食

(5) 事業の規模（主要製品の生産量・出荷額・従業員数、事業所の延べ床面積等）

活動規模	単位	令和2年度
売上高	百万円	売上規模 (2,975)
従業員	人	8h換算134人 (総人数216人)
床面積	m ²	4,099

(6) 環境活動の対象期間と発行日

対象期間：令和2年度（2020年8月1日～2021年7月31日） レポート発行日：2021年11月1日

(7) 対象事業所一覧

① 本社	: 札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
② 中央店	: 札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
③ 新札幌店	: 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目
④ 厚別5条店	: 札幌市厚別区厚別中央5条6丁目
⑤ 厚別東2号店	: 札幌市厚別区厚別東2条4丁目
⑥ もみじ台南店	: 札幌市厚別区もみじ台南6条1丁目
⑦ もみじ台ショッピングセンター直営店（リビングもみじ台、だいいち）	: 札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
⑧ 牛角ウエスタンパワーズ店	: 旭川市永山12条3丁目
⑨ ホクノー園	: 札幌市厚別区下野幌2006番地

3. 環境経営方針

基本理念

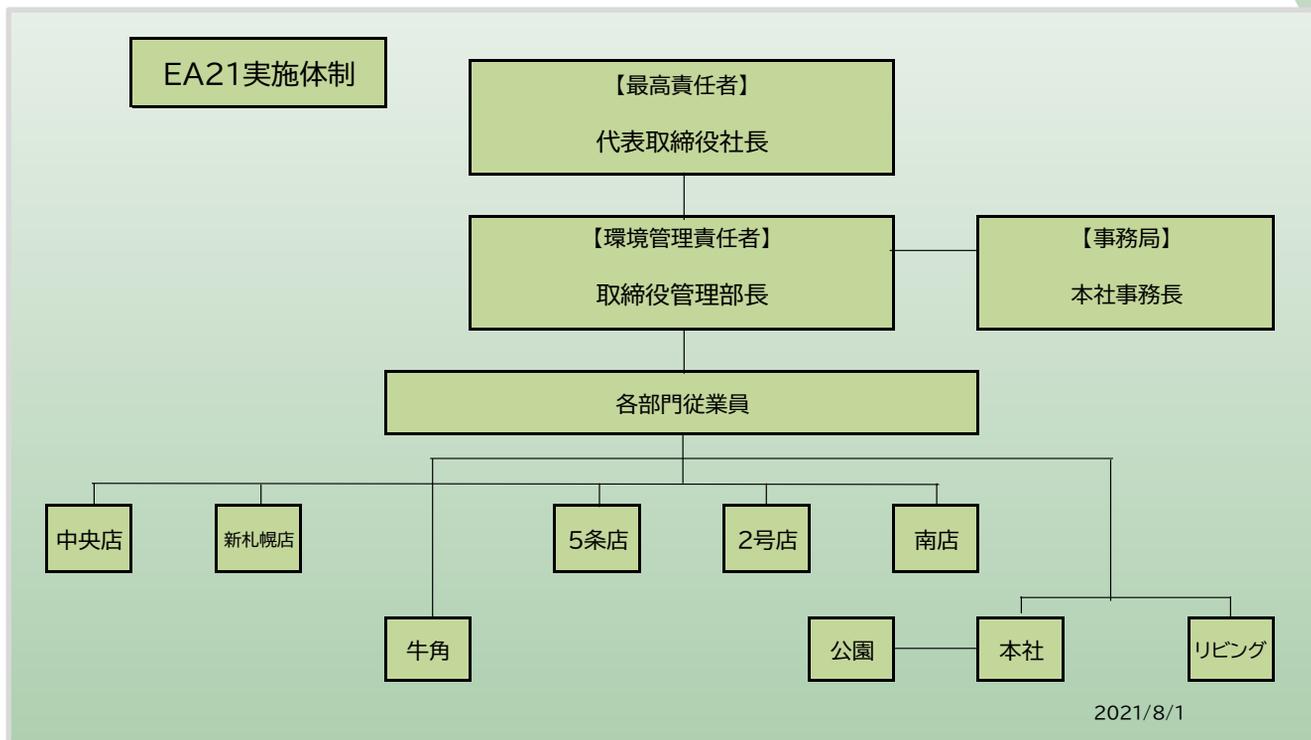
私たちは、お客様の豊かな暮らしを創造するために、安全・安心な商品・サービスを提供するとともに、地域社会の一員として地球環境に関する責任を厳粛に受け止め、企業活動と環境との調和を図り、環境汚染の防止、資源の有効利用に継続的に取り組み、より良い社会の実現に努めて参ります。

基本方針

- (1) 環境に関する法律、規制及びその他要求事項を遵守します。
- (2) 地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
- (3) 水使用量の削減など省資源に努めます。
- (4) 食品廃棄物の抑制とリサイクルに取り組みます。
- (5) 環境に配慮した商品の販売、環境に配慮した店舗運営に努めます。
- (6) この方針を従業員に周知徹底し、定期的な見直し、継続的な改善を行います。

2021年8月1日
株式会社ホクノ一
代表取締役社長 野地 秀一

4. 組織体制



5. 環境目標とその実績

(1) 中期環境目標

項目	H30年度目標	R元年度目標	R2年度目標
項目	前年対比	前年対比	前年対比
消費電力の削減 2,762,834KWh/29年度	前年維持	前年維持	1%削減
水道水使用量の削減 9,769m ³ /29年度	前年維持	前年維持	前年維持
一般ごみ排出量の削減 44.8t/29年度	前年維持	前年維持	前年維持
コピー用紙使用量削減 706kg/29年度	前年維持	前年維持	前年維持
レジ袋使用量削減	90%	90%	91%

(2) 今年度の目標とその実績

項目	R2年度目標	R2年度実績
消費電力の削減 2,354,717KWh/R元年度	前年対比 1%削減	2,261,155KWh 4%削減
水道水使用量の削減 7,417m ³ /R元年度	前年対比 維持	6,071m ³ 前年対比81.9%
一般ごみ排出量の削減 47.2t/R元年度	前年対比 維持	47,817t 前年対比108.9%
コピー用紙使用量削減 963kg/R元年度	前年対比 維持	881kg 前年対比91.4%
レジ袋使用量削減	マイバッグ等持参率91%	目標達成(91.1%)

令和2年度 二酸化炭素総排出量 1,455,345.80kg (前年度 1,706,489.90kg)
(温室効果ガス排出係数：北海道電力(株)0.6kg-CO₂/kWh・(株)エネット0.408kg-CO₂/kWh)

6. 環境活動の取組み結果の評価

(1) 消費電力の削減

もみじ台ショッピングセンター空調機の運転は、ピーク時を避け早朝にシフトするなど消費電力削減に努力、前年比4%削減となり目標達成した。
日々の朝礼、ミーティング等での繰り返し教育で従業員の意識向上を図り節電に努力し、引き続き更なる削減に努力する。

(2) 水道使用量の削減

無駄の排除で節水に努め、更なる節水の徹底を図ったこと。新型コロナウイルス蔓延による飲食店の営業休止、営業時間短縮等の影響が大きく前年比18.1%削減となり目標達成。引き続き更なる削減に努力する。

(3) 一般ゴミ排出量の削減

焼却ごみと資源ごみの分別が不十分なことに加え、手洗い励行によるペーパータオル使用量の増加で前年比8.1%と大幅に増加。分別可能なゴミの徹底を図り、削減に努める。

(4) コピー用紙使用量削減

会議資料の削減、健康ステーション関連の使用量削減に努め、使用量は前年比8.6%減となった。今後もウェブ・メール活用により更なる削減に努力する。

(5) マイバッグ持参率

当社では平成24年度からレジ袋の有料化を始めており、既に高い持参率を維持してきたが、令和2年7月1日からのレジ袋有料化政策をきっかけとして持参率が向上、令和2年度マイバッグ等持参率目標91%に対し、91.1%の実績で目標を達成した。

6. 令和3年度からの中期環境目標

項目	単位	R02年度実績	R03年度目標	R04年度目標	R05年度目標
CO2排出量	kg-CO2	1,455,345	1,440,791	1,426,383	1,412,119
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
水使用量	m ³	6,071	6,010	5,950	5,890
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
一般ごみ排出量	kg	47,817	47,339	46,865	46,396
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
食品廃棄物排出量	kg	33,939	33,600	33,264	32,931
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
コピー用紙使用量	kg	881	872	863	854
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
レジ袋辞退率	%	91.1	91%	91%	91%
			前年維持	前年維持	前年維持

7. 環境活動計画

(1) 温室効果ガス (CO2) 排出量の削減

① 電力使用量削減

- ・照明：店舗の営業時間外は必要箇所のみ点灯。屋外照明は、時季に合わせてタイマーセットする。事務所では必要な箇所のみ点灯、退社時には消灯を励行する。
- ・冷蔵、冷凍機器：ドアを開放して作業を行わない。冷ケースの吹出口、吸気口を塞がず清掃を実施。老朽化し効率の悪い冷蔵、冷凍機器の更新を進める。(1店舗)
- ・空調：室温をチェック、こまめ調節を行う。温度設定可能な空調機は夏季27℃、冬季19℃に設定。

② 燃料転換

- ・ロードヒーティングボイラーの更新時期には、石油からCO2排出量の少ない都市ガスへ転換する。

(2)水使用量の削減

- ① 蛇口は全開しない。(吐水量1分間に約30リットル出ます)
- ② 蛇口ハンドル回転角度は、もっとも効率的な90度～360度までとする。
- ③ 水、お湯の出しっぱなしでその場を離れない。ため置き洗いを徹底する。
- ④ 女性用トイレの擬音装置の活用。(1回の使用で約8リットルの節水)
- ⑤ 前年の使用量と比較、大幅に上回っている店舗の原因調査を実施、改善策、修繕等を図る。

(3)一般ゴミ排出量の削減

- ① 札幌市環境事業公社の分別基準を今一度社内に周知し、分別を徹底させる。
- ② 各ゴミ置き場の分別表示を基に排出する。
- ③ 体積での計量廃棄物は、減量のため出来るだけ圧縮する。
- ④ リサイクル資源ゴミも上記公社基準に従い分別。
 - ・ ダンボール、コピー用紙類、発泡スチロール(減容)等は上記により分別、リサイクルを実施。
- ⑤ 中央店、新札幌店、厚別5条店、厚別東2号店、もみじ台南店の5店は、店頭での回収ボックス設置によりお客様の協力により食品トレーを回収、リサイクルを実施する。

(4)食品廃棄物排出量の削減

- ① 生ゴミは札幌市環境事業公社が回収、再生依頼しているが、圧縮機により減容量を図る。
- ② スーパーの惣菜部門は、製造計画の精度向上と発注量の適正化、管理徹底により削減を図る。
- ③ 前年の再生利用率が94.6%と既に高率であり、再生利用率向上には旭川市で焼却処分されている生ゴミ排出量の削減が必須であり、日々の管理徹底により発生量の減量に努める。

(5)コピー用紙使用量削減

- ① 会議資料は両面印刷で使用枚数を削減する。
- ② 連絡、報告事項は紙ベースでなくwebメール等を活用する。
- ③ ミスプリント用紙は裏面コピーで再利用する。

(6)レジ袋削減

- ① マイバッグ等持参率向上によるレジ袋削減に向けた取組みに関する三者協定(事業者、市民団体、札幌市)を平成20年9月3日に締結、毎年実績を報告しており、引き続きマイバッグ持参率の維持に努める。
- ② レジ袋有料化(1枚3円)によるレジ袋の販売代金は北海道CGCみどりところの基金を通じて、環境保全活動や地域貢献活動などに還元し、その内容を公表している。

※ 詳細は下記ホームページ公表中

A)北海道CGCみどりところ基金

B)札幌市環境局環境事業部ごみ減量推進化

11. 2017年11月から中央店2階に「ホクノー健康ステーション」を開設、健康寿命を延ばすために、超高齢社会となった地域と連携した取組を実施中である。

12. ホクノー園についての環境負荷は微量である。

13. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 罰則、行政指導に関わる義務規程について、違反及び関係機関から指摘はなかった。また、訴訟等もなかった。

14. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 2014年制定の環境経営方針は、2017年版ガイドラインに沿った形で見直しを実施した。

同時に環境目標・環境活動計画・実施体制について、いま一度見直しを実行した。

エコアクション21認証15年目となる次年度、引き続き法令遵守、地域貢献を念頭に行動して行くと共に、高齢化社会における地域環境の保全を考慮したい。

(2) 環境目標は、環境負荷軽減（CO2削減、資源節約、廃棄物削減）について積極的に取り組むべく改めて設定する。環境負荷軽減の活動は、企業経営の効率向上と経費削減に直結することから、経営課題解決の一つのチャンスと捉えたい。

(3) 環境活動計画について、各拠点における管理者、従業員の意識が最も重要と考える。会議等でPDCAサイクルに基づき、計画を明確にして着実に遂行したい。

(4) 実施体制に変更の必要性はないと考える。